

ISOCC2020 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府理工学専攻
電子情報・数理教育プログラム
小林研究室 博士前期課程 2 年
八田 朱実

1. 参加学会名称

ISOCC2020 17th International SoC Conference

2. 開催場所

韓国 麗水市 ソノカーム麗水ホテル
(Whova を用いて Web 参加)

3. 開催期間

2020 年 10 月 21 日 (水) ～ 2020 年 10 月 24 日 (土)

4. スケジュール

2020 年 7 月 24 日 (金) : 論文提出締切
2020 年 8 月 17 日 (月) : 受理通知
2020 年 9 月 4 日 (金) : 著者登録、最終論文の提出締切
2020 年 10 月 7 日 (水) : スライドとビデオの提出締切
2020 年 10 月 23 日 (水) : 発表

5. 発表論文

“Study on Crest Factor Controlled Multi-Tone Signal for Analog RF Circuit Testing”

Yukiko Shibasaki , Koji Asami , Akemi Hatta , Riho Aoki , Anna Kuwana, Haruo Kobayashi

6. 報告・感想

<ISOCC について>

ISOCC は、学术界や産業界の世界中の研究者に最高の SoC 設計フォーラムを提供する年次会議として 長い伝統を確立している。ISOCC は、創設以来、半導体システムオンチップ分野の最新のイノベーションとトレンドを紹介し続けており、学界、産業界、研究所の世界中の研究者が積極的に参加している。ISOCC 2020 は、アナログおよびデジタル回路とシステムの設計、理論、シミュレーション、モデリング、実験の実装と経験、およびチップオンチップシステムの新技术における新しい高度な概念と開発を示す、半導体回路およびシステムの分野の技術論文が集まる。

新型コロナウイルスの影響で、学会用のアプリ Whova を用いたオンラインでの参加となった。

<発表について>

2020年10月23日（金）14:15~14:30 (12 min talk +3min Q&A (予定だった))

柴崎さんの研究内容だったこともあり、私自身内容を完璧に理解しきれていないところがあったため、スライドを作り始めて初めて聞く言葉や内容を誤認しているものもあり、スライド作成がなかなか大変だった。しかしながら、この論文を発表させていただくことで新たな知識を増やすことができたと思う。

また、オンラインでの発表ということもあり、発表形式や雰囲気がよくわからないままの参加当日を迎えた。事前にビデオを作成するというのも初めてで、ビデオの作成になかなか苦戦した。学会開催日の10日ほど前に、オンラインでリアルタイムに発表するか事前に録画しておいたビデオを流すかを選択してほしいとのメールが来た。私はビデオでの発表を選択し、発表当日は事前に録画していたビデオを運営の人に流して頂いた。メールではQ&Aには参加してほしいといった趣旨のことが書かれていたが、当日ビデオが終わると次の発表者にすぐ切り替えられQ&Aはなかった。学会当日緊張していたためQ&Aもなく再生されるビデオを見ているだけだったので少し拍子抜けしたが、何はともあれ無事に学会を終えることができ大変安心している。

7. 謝辞

今回の学会に参加させていただいたことで貴重な経験を積むことが出来ました。今回このような発表の機会を用意して頂いた小林春夫先生、桑名杏奈先生、研究指導して頂いた客員教授 浅見幸司先生、研究室先輩の柴崎有祈子さん、学会参加のサポートをしていただいた研究室の皆様感謝申し上げます。



Analog Circuit Session 1

Oct. 23, 2020
14:15-14:30

Study on Crest Factor Controlled Multi-tone Signal for Analog RF Circuit Testing

Yukiko Shibasaki, Koji Asami, Akemi Hatta
Riho Aoki, Anna Kuwana, Haruo Kobayashi

Gunma University